

託麻三山



戸島神社

こうぞのやま
 神園山・小山山・戸島山
 散策マップ

史跡をめぐる

5 平山菊池家宅の跡



菊池家14代菊池武士が建立したとされる大津寺跡。北に穴太積(あうづみ)の石垣、裏手に二重の堀を構えた小坂郭跡の要害地。
 平山菊池家初代重千代丸一武治(22代能運の遺児と伝承)以来17代続いた平山菊池家の住居跡である。先の大戦で男子ごとく戦死し17代幹一で建て替えた。広大な屋敷跡には「梵天・帝釈天」を祀る石祠が寂しく残っている。

4 平山天満宮



現在の祭神は菅原道真。もともとは天神の森であったと思われる。神体を祀る石祠は、石灯籠2基の「文化8年(1811)・天保4年(1833)」及び手水鉢の「天保11年(1840)」の紀年銘から江戸末期に出来たと思われる。

3 平山地蔵



舟形光背を背負う小立像で、凶作で飢饉が続いた江戸後期の安永4年(1775)に建立されている。

2 平山菊池家墓所



菊池家14代菊池武士(たけひと)が建立した東福寺跡と伝えられ、17代続いた平山菊池家の墓所である。元龜2年(1571)銘の宝篋印塔(ほうきょういんとう)は平山菊池家初代重千代丸一武治(22代能運・よしゆき)の遺児と伝承の墓碑。一族の墓碑33基が整然と並んでいる。

1 石の本遺跡群

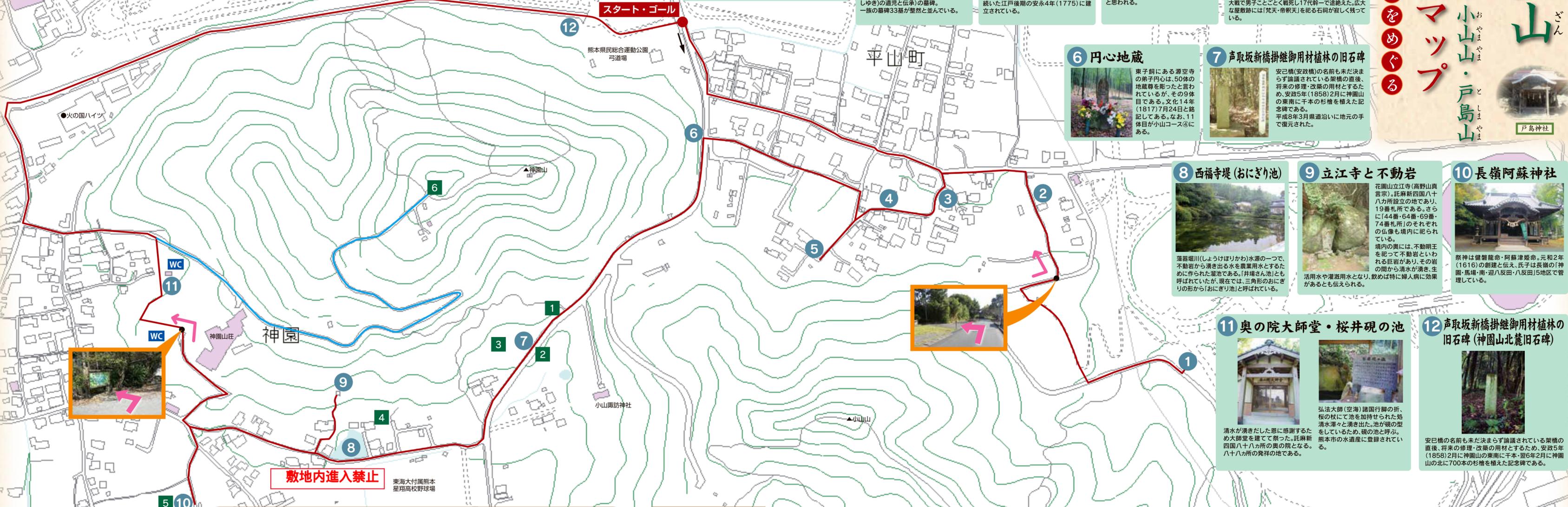


はるか3万年を超える、日本最古級の石器が出土し、人々がこの地に最初に住み始めたころの足跡を残している。10万点以上のほろ遺物が出土し、約3.8万年前からの複合遺跡(旧石器・縄文・一部で弥生古墳・中世まで)であることが確認され、後世に残すため土を被せ遺跡保存が行われている。

神園コース

3万年の歴史豊かな平山と八十八ヶ所発祥の地「神園」を訪ねる

スタート地点までのアクセス
 桜町バスターミナルから産交バス(約40分)
 F 1-1 東熊本第二病院行き(運動公園入口バス停下車)
 F 1-2 光の森産交行き(運動公園入口バス停下車)
 K 5-1 光の森産交行き(石原[バイパス]バス停下車)



敷地内進入禁止

モデルコース

所要時間：約90分
 消費カロリー：約225kcal

- 1 石の本遺跡群
- 2 平山菊池家墓所
- 3 平山地蔵
- 4 平山天満宮
- 5 平山菊池家宅の跡
- 6 円心地蔵
- 7 声取坂新橋掛継御用材植林の旧石碑
- 8 西福寺堤(おにぎり池)
- 9 立江寺と不動岩
- 10 長嶺阿蘇神社
- 11 奥の院大師堂・桜井硯の池
- 12 神園山北麓旧石碑

こちらもオススメポイント!

- 1 鳥越峠と旧山道
 戸島から小山を経て鹿帰瀬に至る道路で、江戸時代は「鹿帰瀬村道」と言われていた。うっそうと樹木が生い茂り、昼間でも薄暗い坂道で、頂上の峠には昔一本松があったと伝えている。一歩山際に入ると昔の面影を残した山道が残っている。
- 2 西福寺の焼き仏
 明治維新の際、廃寺になった西福寺の仏像等を中山(現小山1丁目)で安置していたが、昭和19年火災で堂とともに仏像も焼けてしまった。昭和36年中山地区の人々により、この焼き仏を安置する堂が現在地に建てられた。「阿弥陀・釈迦・観世音」三尊の石仏を刻み、その後方に焼き仏を安置している。
- 3 神園山瓦窯跡
 神園山・小山山麓一帯は、奈良・平安時代にかけての瓦生産地であり、瓦を焼く煙たにびく古代窯業地帯を形成していた。昭和36年中山地区の改修期(平安時代)に供給した瓦を作った窯跡であることが確認されている。
- 4 万松山西福寺跡
 菊池家14代菊池武士ゆかりの託麻五山の一つ、万松山西福寺という曹洞宗の寺で正平年間(1346~70)に大智禪師により開基したと伝えられ、五輪塔の残欠や一字一石塔・歴代住職の墓に中世寺院の名残を見る。また芭蕉塚・高塚野翁塚では江戸時代の俳諧の盛況がしのばれる。
- 5 神園観音堂
 長嶺阿蘇神社の社殿左側にあり、もともと長嶺観世音の堂と伝えられ、「違ひ鷹羽」の紋瓦が葺かれている。御本尊は阿蘇一の宮健甕龍命の本地仏十一面観世音菩薩である。
- 6 長嶺城跡
 神園山の尾根筋に遺構が残っている。「古城考『肥後国誌』」によれば、長嶺村にある山城で地元では「筑後の嶺」と言っている。城主は筑後の守であるが、家名や年代は不明であるとされる。